

～生徒数最多・全国入賞者数最多～ 驚異の道場経営・極意皆伝



道場経営の 成功法則

養正館館長
渡辺貴斗

【第9回】ブルーオーシャン市場でニッチ戦略

★道場経営の本は無いの？！

私は20年ほど前、道場経営をスタートするときに、まず、空手道場に関する経営本を探しました。神保町の古本屋街へ行き、空手専門誌や、月刊空手道のバックナンバーを買い漁り、どこかにアイデアは落ちてはいないかと隅々まで目を凝らしました。

しばらくして、腹巻宏一先生の『柔道はすばらしい』が発刊され、本格的な道場経営本の第一号といえる素晴らしい内容に感銘を受けました。そのとき私は、「空手分野にこだわる必要は無いのだ」ということに気づきました。サッカー、野球、果ては学習塾など、いろいろな経営・指導に関する本を手当たり次第に読み漁るようになりました。そこは未開拓の宝の山で、まだ空手界では誰も実行していない、常識外れな方法が満載でした。

★レッドオーシャン、血で血を洗う争い

「道場経営で成功したい、だから、成功している空手道場の研究をする」、これはこれで正しいのですが、私は実際にこれをやってみて、この考え方に限界を感じました。近年、空手の道場経営もすっかりレッドオーシャン化してきました。空手界で蓄積されたアイデア、工夫などは、空手界では常識ですので、そこから新しいアイデアは生まれてきません。空手界から見たら非常識と思われる他業界の方法を、空手界で初めて取り入れた人がフロンティアとなることができるのです。

私の連載は、他の業界から学んだ手法を取り入れ、実際に実行した、成功例や失敗例を綴っていますが、これと同じことを、皆さんもやれば良いのです。私というフィルターを通った時点で、それはすでに渡

辺式となっているのです。同じ元ネタでもあなたというフィルターを通れば、また違ったアイデアが生まれてくることでしょう。

過去、道場見学された先生方はどなたも「養正館は何から何まで普通じゃない」とおっしゃいます。

9年前、養正館に赴任したばかりの島袋指導員が「大学空手出身の指導者は、自分が経験してきたことしか知らないなのでその枠から出ることができない。よって、日本全国どの道場も、大学空手部の延長で独自性が無い。渡辺先生は競技空手未経験で先代の町道場しかご存知ないので、それがかえって良かったのだろう」と分析していました。

★公文式の画期的ストラテジー

他業種の例として、公文式を取り上げてみます。まず、教室に行くと、学力診断テストを受けます。全レベルの問題が網羅されていて、どこでつまづいているかが分かります。ある中学1年生が、小4の分数でつまづいていることがわかったとします。そこで小4レベルから始めるのではなく、もっと前の九九や引き算から始めます。完璧にわかるので100点ばかりで、どんどん先に進みたくくなります。気づいたら数か月で中学レベルまで到達し、さらには中学生のうちに高校数学も終了してしまう、というわけです。

実は、これは私の実体験談です。私は中1の時、腎臓病で7カ月間（2学期と3学期）入院しました。中2の4月から復学する予定でしたが、勉強の遅れから、学校に行くのが怖くなりました。退院したある日、新聞広告で公文式を偶然見つけた私は、「これだ！」とピンとききました。診断テストにより、

分数から分かっていないことが判明し、九九からスタートしました。無事、2年生となれましたが、はじめての中間テストで365人中ほぼ最下位であったことを覚えています。

愕然とした私は、寝る以外の時間はすべて勉強に費やし、公文の英語と国語もスタートしてプリントを毎日100枚以上こなしました。その2ヶ月後の期末テストでは、いきなり学年5位を取ることができたのです。もっと順位を上げてやろうと、ゲーム感覚でさらに勉強したのを覚えています。卒業まで、ほぼすべての中間テストと期末テストで、学年1位を取ることができました。この話を聞いて、「この手法は、空手の指導や経営に活かせるな」とみなさんのアンテナは反応したでしょうか？

★他業界に学ぶ

このように、他の業界では当たり前である手法が、空手界では非常識であり、誰も取り入れていないものがまだまだあります。これを道場経営や空手指導に取り入れたら、と考えるとウキウキしてきませんか？ まだ誰も気付いていない、とんでもないアイデアがあなたの身の回りに日常として存在しています。それに気づいたあなたは、この狭い空手業界で、頭ひとつ抜きん出ることができるのです。

そろばん塾はなぜなくなるのか、数百人の生徒を擁するサッカー教室の生徒集客方法など、調べれば面白いアイデアが満載です。

成功している道場の先生に秘訣を教えてもらった

様々な分野に
アイデアが
満載！



のに、あなたの頭の中に「？」マークが浮かんだことはありませんか？ それは、その先生のフィルターを通して生み出されたアイデアですので、あなたには理解できなかった、合わなかったのかもしれないね。

答えを教えてもらうのではなくて、答えの導き出し方を身に着ければ良いのですね。

PROFILE

■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から研修会副会長・渡辺貞雄（父）に師事。

2001年に父の町道場を継ぎ、2006年からコーチングを導入した指導法に切り替えると、2010年に全少優勝者を早々に輩出。その後、2014年7名、2015年7名、2017年9名など、1道場からの「全少の全国最多入賞者数」を少なくとも8年連続で記録する。

1道場に380名の道場生が在籍し、道場経営でも全国一を誇る。100回以上続いたJKFanでの連載「ZENSHOに行こう」で、空手キッズの指導にコーチング理論を導入し体系づけた空手界の第一人者。東京大学大学院博士号を持つ異色の指導者でもある。

空手道場 養正館／静岡県沼津市本田町11-12



ひと休み Column

養正館 全少選抜入賞、高校選抜入賞、全少・全中出場

■令和6年2月の全少選抜大会で
小2男子形 山田龍聖が7位入賞。

■令和6年3月の高校選抜大会で
女子団体組手3人制 阿部日葵が5位入賞。

■全少と全中の県予選会で
7名の出場が決定しました。

【右写真】

「前列 左から」小3男子形・優勝 山田龍聖／小1女子形・優勝 植松葵衣／小1女子組手・優勝 鈴木晴大／小1女子組手・準優勝 大村音寧

「後列 左から」中3男子形・優勝 伊藤泰暉／小4女子形・優勝 植松明莉／小5女子形・優勝 齋藤美月／高3女子組手・5位 阿部日葵

